



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 オートバックスセブン

コード番号 9832 URL <https://www.autobacs.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 堀井 勇吾

問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務部長 (氏名) 大木 勝仁 TEL 03-6219-8787

四半期報告書提出予定日 2024年2月7日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	179,637	0.8	8,991	△8.4	9,311	△5.7	9,106	29.4
2023年3月期第3四半期	178,141	3.6	9,811	11.4	9,869	4.5	7,038	14.3

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 8,965百万円 (4.1%) 2023年3月期第3四半期 8,608百万円 (28.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	116.82	-
2023年3月期第3四半期	90.30	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	217,923	131,261	60.1	1,679.92
2023年3月期	194,327	126,963	65.2	1,624.44

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 130,966百万円 2023年3月期 126,622百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	30.00	-	30.00	60.00
2024年3月期	-	30.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	30.00	60.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	234,200	△0.9	11,900	1.5	11,600	0.2	9,000	24.3	115.44

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	82,050,105株	2023年3月期	82,050,105株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	4,089,829株	2023年3月期	4,102,004株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	77,955,443株	2023年3月期3Q	77,942,416株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の行動制限緩和に伴い社会経済活動の正常化が進み、個人消費は持ち直しの動きが見られました。一方で、ウクライナ情勢の長期化や、原材料やエネルギー価格の高騰などを背景とした物価上昇、為替相場の変動による景気減速懸念など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

国内の自動車関連業界の動向といたしましては、世界的な半導体不足の影響を受け低迷していた新車販売台数は、半導体の供給改善により前年を上回る水準へ回復いたしました。また、中古車においては、新車販売の回復により下取り車の流通台数が増加し、中古車登録台数は増加傾向にあります。

このような環境下において、当社グループは、社会・クルマ・人のくらしの変化をいち早く捉えて適応することで市場競争力の向上に努めております。当社グループが向かうべき方向性を示す「5ヵ年ローリングプラン」では、より成長の可能性の高い領域への集中に加え、持続的成長に向け、ネットワークおよび事業基盤の強化と事業の推進を図っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,796億37百万円（前年同期比0.8%増加）、売上総利益599億77百万円（同0.3%増加）、販売費及び一般管理費509億85百万円（同2.0%増加）、営業利益89億91百万円（同8.4%減少）、経常利益93億11百万円（同5.7%減少）、連結子会社2社の事業譲渡に伴う特別利益39億71百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益91億6百万円（同29.4%増加）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

〔国内オートバックス事業〕

国内オートバックスチェーン（フランチャイズ加盟法人店舗を含む）の全業態の売上高は、前年同期比で既存店が0.3%の増加、全店が0.5%の増加となりました。

国内オートバックスチェーンでは、既存車のメンテナンス需要を背景に、エンジンオイル、バッテリーが好調に推移いたしました。また、これらの商品に伴うサービス工賃も堅調に推移いたしました。

タイヤについては、プライベートブランドタイヤやオートバックスグループ専売タイヤ等の低価格帯商品の売上が伸長したものの、暖冬によりスタッドレスタイヤが低調だった影響で、売上は前年割れとなりました。

プライベートブランドについては「AQ.（オートバックスクオリティ.）」や、心躍るガレージライフを提案するブランド「GORDON MILLER（ゴードンミラー）」等、自信をもっておすすめできる価値ある商品の開発・販売を推進しております。

車検・整備については、公式アプリにおいて、ピット作業予約機能に加え、主要メンテナンス項目の作業履歴や交換時期のお知らせ機能を追加するなど、順次サービスを拡大しております。また、ピット作業のWeb予約が定着しつつあり、公式アプリからのピット作業予約件数が前年同期比24.5%増加いたしました。車検実施台数については、当第3四半期より車検対象台数が減少に転じましたが、車検リピート率の向上などに努めたことにより、前年同期比1.9%増加の約47万8千台となりました。

車販売については、中古車の買取台数の増加を背景に好調に推移いたしました。これにより、国内オートバックス事業における総販売台数は前年同期比14.9%増加の約22千9百台となりました。

また、オートバックス会員制度を18年ぶりにリニューアルし、特典内容やランクアッププログラムの見直しを行い、さらに魅力的な会員制度といたしました。

国内における出退店は、新規出店が1店舗あり（SB/RLに伴う出退店は除く）、2023年3月末の588店舗から589店舗となりました。

これらの結果により、国内オートバックス事業の売上高は1,348億75百万円（前年同期比2.3%増加）となり、セグメント利益は151億72百万円（同4.2%減少）となりました。

〔海外事業〕

海外事業における売上高は117億26百万円（前年同期比14.4%増加）、セグメント利益は39百万円（前年同期は1億33百万円のセグメント損失）となりました。

小売・サービス事業においては、ウクライナ情勢や世界的なインフレの影響を受けたものの、売上は増加し、卸売事業においては既存取引先への営業強化などにより、売上が伸長いたしました。

フランスにおいては、冷夏や降雨により夏季用品の需要が減少したものの、価格の適正化や営業活動の最適化などの対策を講じたことにより、売上が増加いたしました。また、法定最低賃金の引き上げにより人件費が増加いたしました。不採算店舗の閉鎖を進めるなど収益性の向上に取り組んでおります。シンガポールにおいては、COE（車両購入権）の価格上昇に伴い、既存車のメンテナンス需要拡大を取り込み、ピットサービスが好調に推移いたしました。マレーシアとオーストラリアにおいては、インフレや金利上昇を背景に、消費者の購買意欲が低下したことなどにより売上が減少いたしました。中国においては、日本国内への輸出が低下し、売上が減少いたしました。

海外における出退店は、新規出店が23店舗、退店が4店舗あり、2023年3月末の78店舗から97店舗となりました。

〔ディーラー・BtoB・オンラインアライアンス事業〕

ディーラー・BtoB・オンラインアライアンス事業における売上高は357億1百万円（前年同期比5.5%減少）、セグメント利益は2億36百万円（同66.6%減少）となりました。

ディーラー事業においては、2023年9月1日にBMW/MINI正規ディーラー事業を行う連結子会社2社を譲渡した影響で、売上が減少いたしました。また、2023年11月には連結子会社である株式会社ボックスeモビリティが、BYD Auto Japanの正規ディーラー「BYD AUTO 宇都宮」を新規オープンするなど、電気自動車をはじめとしたZEV（ゼロエミッション車）の販売にも着手しております。

BtoB事業においては、社用車のメンテナンスやカー用品などの法人一括払いが可能となる「オートバックス法人会員制度」への加入件数が順調に増加するとともに、車両のメンテナンス需要を背景に、カー用品、エンジンオイル等の卸売を行う子会社が好調に推移いたしました。また、ドライブレコーダーやカーナビゲーションなどの出張取付サービスが堅調で、2023年9月に開始した園児送迎バス置き去り防止装置の出張取付サービスは、園児送迎車両だけでなく、介護送迎車両などにもご利用いただいております。さらに、日産自動車株式会社との協業にも注力しており、「日産サクラ」「日産セレナ」等の専用アイテムの企画開発・販売を行っております。

オンラインアライアンス事業においては、引き続き物流改革やネットとリアルとの融合を進めております。また、カーライフに必要な情報サービス・コンテンツをサイト内に集約したカーライフ総合情報サイト「MOBILA（モビラ）」を通じて、潜在顧客へのアプローチと既存会員の満足度向上を目指しております。さらに、スマートフォンアプリやPCで、運転日報や運行管理、携帯アルコールチェッカー「ALCクラウド」による酒気帯び確認記録などを一括管理できるクラウド型社用車管理システム「FLEETGUIDE（フリートガイド）」の提供を開始いたしました。

〔その他の事業〕

その他の事業における売上高は133億3百万円（前年同期比3.8%減少）、セグメント損失は5億8百万円（前年同期は6億65百万円のセグメント損失）となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,570	33,447
受取手形及び売掛金	26,149	32,384
商品	23,899	24,665
未収入金	27,102	32,976
その他	9,703	12,737
貸倒引当金	△83	△82
流動資産合計	111,341	136,129
固定資産		
有形固定資産		
土地	24,735	24,312
その他(純額)	22,022	22,776
有形固定資産合計	46,757	47,089
無形固定資産		
のれん	1,386	1,144
その他	8,005	7,030
無形固定資産合計	9,392	8,175
投資その他の資産		
差入保証金	12,128	11,683
その他	14,724	14,859
貸倒引当金	△16	△13
投資その他の資産合計	26,836	26,529
固定資産合計	82,986	81,794
資産合計	194,327	217,923
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,629	34,907
短期借入金	1,847	684
未払金	15,746	19,063
未払法人税等	2,726	1,664
その他	10,954	13,299
流動負債合計	48,906	69,619
固定負債		
長期借入金	6,699	6,072
引当金	7	7
退職給付に係る負債	341	252
資産除去債務	2,741	2,708
その他	8,667	8,001
固定負債合計	18,458	17,042
負債合計	67,364	86,661

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,998	33,998
資本剰余金	34,156	34,220
利益剰余金	61,997	66,421
自己株式	△6,990	△6,969
株主資本合計	123,162	127,671
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,077	1,633
為替換算調整勘定	1,382	1,662
その他の包括利益累計額合計	3,460	3,295
非支配株主持分	340	294
純資産合計	126,963	131,261
負債純資産合計	194,327	217,923

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	178,141	179,637
売上原価	118,321	119,660
売上総利益	59,820	59,977
販売費及び一般管理費	50,008	50,985
営業利益	9,811	8,991
営業外収益		
受取利息	47	67
受取配当金	78	119
持分法による投資利益	—	387
情報機器賃貸料	501	564
その他	779	776
営業外収益合計	1,407	1,915
営業外費用		
支払利息	55	53
持分法による投資損失	285	—
情報機器賃貸費用	440	1,149
固定資産除却損	43	39
その他	525	353
営業外費用合計	1,349	1,596
経常利益	9,869	9,311
特別利益		
事業譲渡益	—	3,971
移転補償金	286	—
退職給付制度終了益	891	—
特別利益合計	1,177	3,971
特別損失		
減損損失	—	90
特別損失合計	—	90
税金等調整前四半期純利益	11,046	13,192
法人税、住民税及び事業税	3,647	3,969
法人税等調整額	354	106
法人税等合計	4,002	4,076
四半期純利益	7,044	9,116
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,038	9,106
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	9
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△104	△449
為替換算調整勘定	262	256
退職給付に係る調整額	1,406	—
持分法適用会社に対する持分相当額	0	42
その他の包括利益合計	1,564	△150
四半期包括利益	8,608	8,965
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,583	8,941
非支配株主に係る四半期包括利益	25	24

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注2)
	国内オート バックス 事業	海外事業	ディーラ ー・BtoB・ オンライン アライアン ス事業	その他の 事業	合計		
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	128,446	9,843	29,927	8,173	176,391	—	176,391
その他の収益	—	—	—	1,749	1,749	—	1,749
外部顧客への売上高	128,446	9,843	29,927	9,923	178,141	—	178,141
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,390	402	7,846	3,901	15,541	△15,541	—
計	131,837	10,246	37,774	13,824	193,683	△15,541	178,141
セグメント利益又は 損失(△)	15,842	△133	707	△665	15,750	△5,938	9,811

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△5,938百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
記載すべき重要な事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注2)
	国内オート ボックス 事業	海外事業	ディーラ ー・BtoB・ オンライン アライアン ス事業	その他 の事業	合計		
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	130,928	11,271	27,895	7,704	177,799	—	177,799
その他の収益	—	26	—	1,811	1,837	—	1,837
外部顧客への売上高	130,928	11,298	27,895	9,515	179,637	—	179,637
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,946	428	7,806	3,787	15,968	△15,968	—
計	134,875	11,726	35,701	13,303	195,606	△15,968	179,637
セグメント利益又は 損失(△)	15,172	39	236	△508	14,938	△5,946	8,991

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△5,946百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来、「国内オートボックス事業」の報告セグメントに所属していた車買取・販売(C@RS)を推進・管理する機能を有する部門を拡大することを目的に「カートレーディング事業」とし、「その他の事業」の報告セグメントに移管いたしました。また、店舗出店等にかかる物件開発と立地開発の機能を有する部門を出店の加速および当社グループ内の不動産を有効活用することを目的に「プロパティデベロップメント事業」とし、「その他の事業」の報告セグメントに移管いたしました。

加えて、「国内オートボックス事業」に含めておりました、顧客サポートや物流施設の間接コストについて、各報告セグメントに配分しない全社費用として見直しを行いました。

これによる報告セグメントである「国内オートボックス事業」、「海外事業」、「ディーラー・BtoB・オンラインアライアンス事業」および「その他の事業」の名称に変更はございません。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。